

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス ドリームズ・２１ｓｔ 松阪駅部田校		
○保護者評価実施期間	R7年1月10日 ～ R7年1月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62 (回答者数)	56
○職員評価実施期間	R7年1月17日 ～ R7年1月25日		
○職員評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちの個性や成長に合わせて、希望している事を取り入れながら、PDCAサイクルを持って、個々の能力を発揮出来るよう支援している。	・毎日の朝礼や校舎ミーティングや、支援中などで、問題となっている事、改善できること、困りごと、日々の様子などを、話し合いをしながらスピード感を持って支援に繋げている。	・職員同士が日々の共有をより徹底し、個々の特性の理解を深めるための勉強をしていき、正しい理解と支援に繋げていく。
2	・能力開発型の放デイとして、漢字検定やパソコン検定の取り組みが充実している。	・個々に合わせて、取り組み方を考え、工夫している。	・検定期間や取り組みを今まで以上に解りやすく視覚化し、日々の取り組みを計画、実行出来るようにする。
3	・日頃から子供たちの様子を保護者様や職員同士で共有し、健康や発達状況について共通理解が出来ている。	・子どもがいつもと違う表情をしていたり、問題点がある際、話し合いを行い、即対応、即解決を心掛けている。	・保護者送迎の所の方が話す機会が多い傾向にあるので、保護者面談や電話やライン等で、会う機会の少ない保護者様との話す機会を増やしていく。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ホームページで情報や活動の様子を公開しているが、保護者に周知されていない。 ・日々の活動の様子が保護者に伝わりにくい。	・毎月の通信が今は無く、全体発信がホームページだけになっている。 ・職員の人数や役割分担により、支援にあたっている職員が送迎に行けると、日々の様子が伝えやすいが、必ずしもそれが出来る環境に無い。	・個人情報を守りながら、普段の様子を含め、ホームページに公開し、送迎時や懇談時など、その都度伝えていく。 ・毎月ではなくても、通信を復活する。 ・普段から、保護者様と話す機会をたくさん作り、信頼関係を作り、色々な話が出来る関係性を築いていく事により、保護者様からの積極的な関わりに繋げていく。
2	・子どもたちが思いきり体を動かして活動出来るスペースがない。	・事業所のスペースの都合上、限界がある。	・今のスペースで出来る体を使った遊びを取り入れる。 ・長期休みや早帰りの時には、積極的に外部施設や公園などへ行く機会を増やす。
3	・非常時、災害時の対応や、事業所での訓練の取り組みが、保護者様に伝わっていない。	・契約時に伝えている以外に特に発信していない。	・非常時、災害時の対応は、更新の都度、個々に説明したり、ホームページやラインで発信していく。 ・避難訓練を実施した際にも、個々に説明したり、ホームページやラインを活用して報告していく。